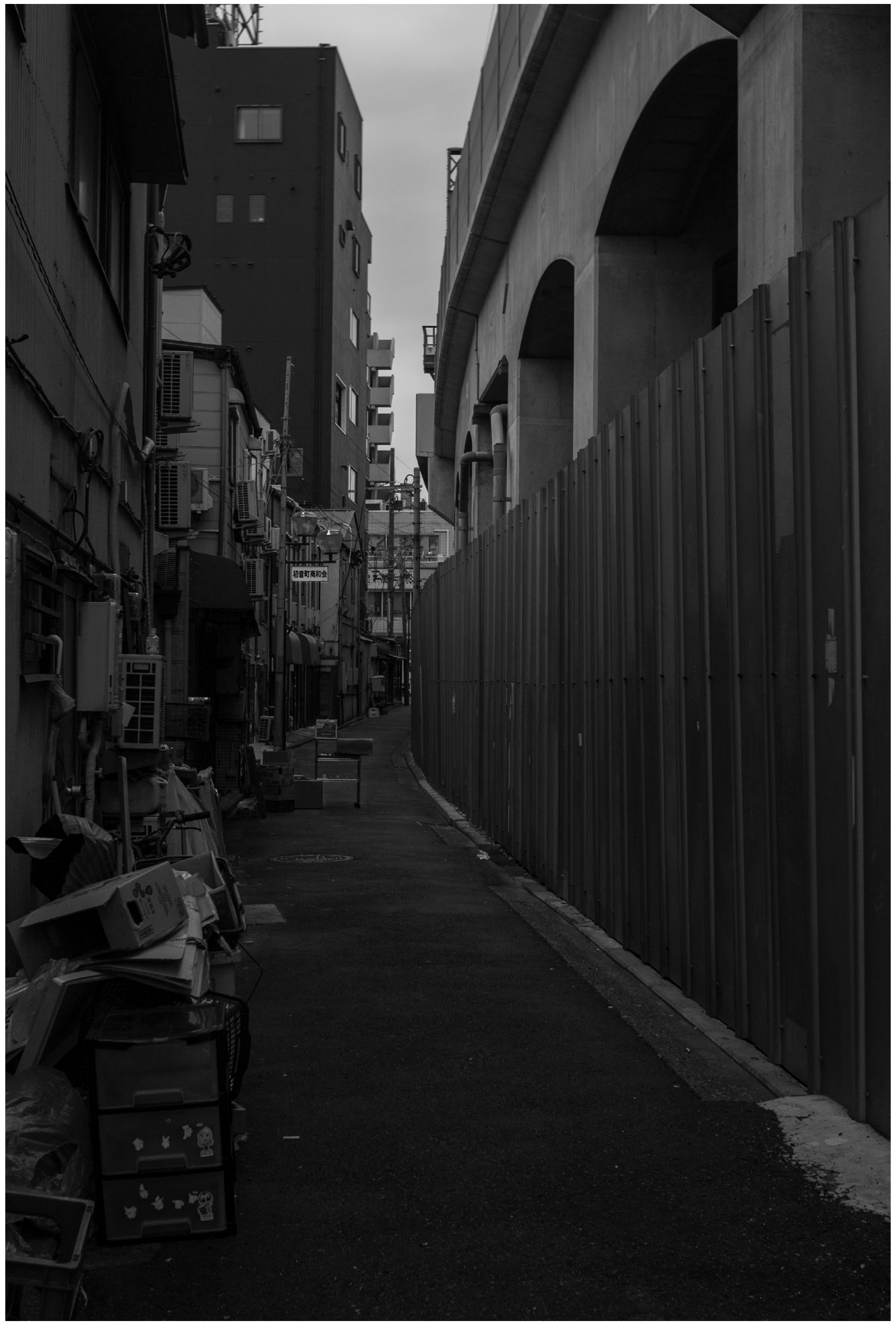
まちの風景——❸

志子田薫



MACHIARUKI JOURNAL
2013/3/25
NO.3

まち歩きジャーナル❸　もくじ

まちの風景3　志子田薫……2
アートとゴミの境界線　走辺憲史×大竹誠　往復書簡……4
【広告】櫻井朝雄写真展……11
60年代を歩く　都市が意識された時代②　大竹誠……12
シンプル・ライフあるいは「倹約の美学」　宮田昌作……14
水上生活者たち。　走辺憲史……17
まち空間考現学②「かんだやぶそば」店焼失の衝撃　櫻井朝雄……20
小さな町、小さな記憶　白石ちえこ……22
【広告】おおさかフィールドワーク研究所……23
知られざるフランスのロマネスク教会を訪ねる　佐藤純……26
ガード下から見えてくるもの　仙洞田伸一……29
B級旅日記　パリ　友田修……32
凡庸で善良な人びとの碌々とした人生　岩本素白　寺田侑……38
【広告】ガード下学会……44

◉編集部より

「自分広告」を出して見ませんか？ 公序良俗に反するものでないかぎり、お店や事務所、会社の広告でもＯＫ！ 掲載料１０００円で広告が出せます。まとめて買い取ってお店や会社や、自分の宣伝に使いましょう。自分で描いたイラストや写真の発表の場、誌上ギャラリーでも面白いと思います。原稿はガード下学会のホームページから、または編集部宛のメールでお送りください。

◉執筆者自己紹介

大竹 誠（おおたけ まこと）
表通りより、裏通りへと身体が向かう習性をもつ。セルフビルドが生活信条の自称デザイナー。

鎌田正志（かまだ ただし）
グラフィックデザイナー。まち歩きジャーナルの編集及びデザイン担当。

櫻井朝雄（さくらい あさお）
大宅壮一東京マスコミ塾第一期生、元雑誌編集者、日本写真協会会員。

佐藤純（さとう じゅん）
□□

志子田薫（しこだ かおる）
写真家。町で見かける何気ない瞬間や物事を撮影している。http://flavors.me/2_funky/

白石ちえこ（しらいし ちえこ）
□□

白浜美千代（しらはま みちよ）
大阪出身。21歳で上京。32歳よりイラストレーター、趣味はインド映画。遺跡巡り。

仙洞田伸一（せんとうだ しんいち）
□□

寺田侑（てらだ すすむ）
「日暮れて道なお遠し」の日々ながら、めげることなく書き続ける。

友田修（ともだ おさむ）
1957生まれ。彷徨い歩きが好きで早期リタイヤに踏み切り、人生も彷徨い始める。

走辺憲史（はしべ のりふみ）
美術、建築、デザイン、その狭間のようなところ、（インターメディア）を職業としてきた趣味人。

宮田昌作（みやた しょうさく）
1975年よりハンブルクに在住。警察から20数回も尋問を受けてきた現代美術家

ガード下学会・まち歩きジャーナル編集部
東京都三鷹市牟礼4—19—13—205
e-mail : tadashi.kamada@gmail.com

まち歩きジャーナル3号.indd 2-3
2013/03/10 15:19